

平成 29 年度

事業者番号 0284 事業所番号 028402

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上の事業所 (種別Cの事業所を除く)
B	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社リテラ 本社・両神工場	
事業所所在地	市区町村	秩父郡小鹿野町
	字・地番	両神薄2703
産業分類名(中分類)	非鉄金属製造業	
分類番号(中分類)	23	
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	主な製品:自動車用、建設機械用等のアルミ部品の製造加工 資本金:9千万円 全社従業員数:261名(本社・両神工場50名)

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		29	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	H27.28年度の平均排出量 (3,509t-CO ₂) に対し、31年度末までに3%以上削減する。又、平均原単位(1.73945)に対しても3%以上削減する。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)		t-CO ₂	事業所区分		
	削減目標量 (計画期間合計)		t-CO ₂			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間(H29~31年度)の平均排出量に対し、36年度末までに5%以上削減する。又、平均原単位に対しても5%以上削減する。				
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
			1,923		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂			4,101			
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
	温室効果ガスの合計			4,101		

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位					1.5611			
活動規模の指標	○	生産量	t/年		2,627			

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量		t-CO ₂ /年
基準排出量検証		

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

B事業所の場合は、本ページは入力・提出不要です

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	
----------	--

(4) 削減計画期間

	年度から		年度まで
--	------	--	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)						
	排出上限量 ($C = \sum A - D$)						
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)						
	排出削減量 ($F = A - E$)						
特例	高効率設備の 算定量(※)						

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	「電力使用量」「LPG使用量」の管理	H28年度	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	「コンプレッサー自動制御システム」監視運転による効率管理	H28年度	167
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	エネルギー(LPG)の非効率設備(溶解保持炉)の更新・・・3号炉更新済み	H28年度	120
4	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	エネルギー(LPG)の非効率設備(溶解保持炉)の更新・・・25号炉	H30年度	100
5	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	エネルギー(LPG)の非効率設備(溶解保持炉)の補修	H30年度	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	製品出荷エリア 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H29年度	5
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	製品検査エリア 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H30年度	5
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	本社棟(金型メンテ室) 天上照明(メタルハライド灯)のLED化	H30年度	1
9	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	高効率変圧器への更新(500kVA 2台)	H30年度	20
10	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	圧縮空気吐出量低下コンプレッサーの更新7号機(75kw)	H29年度	20
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

昨年(H28年度)報告では、①両神工場 ②本社棟 ③秩父第二工場 合算で「事業所A」で報告したが、①両神工場の生産が増産となりエネルギー使用量が1,500kLを超えた、又②本社棟が近郊域にありエネルギー管理の連動性もあり①②合算「本社・両神工場」としてH29年度は事業所種別Bで報告致します。

<本社・両神工場>

・27年度

原油換算エネルギー使用量	1,366KL
エネルギー起源CO2	2,917t-CO2
エネルギー起源CO2排出量原単位	1.9178

(活動規模の指標 生産量 1,521t/年)